

種類	特徴
国際470級	全長470cmの「ディンギー」という2人乗りの小型のヨットを操ることから「470級」(ヨンナナマル級)と呼ばれるセーリング競技。メインセールと舵取りを担当する「スキッパー」と、船の傾き調整とジブセールの操作を担当する「クルー」により、海面に設置されたブイを定められた順番に定められた回数まわり、ゴールする順位を競います。通常2枚のセール(帆)、風下に向かうときに3枚のセールで走りますが、艇のバランスをとるにはクルーが艇の外に飛び出すようなかたちになります。パフォーマンスが高くスピードが勝負の鍵といえます。
国際スナイブ級	スナイブ級は2枚のセール(帆)で走る2人乗りディンギーで、スキッパー、クルーともにハイクアウト(上半身を乗り出す)してバランスをとります。470級に比べ、スピードにあまり差が生まれないので、レースでは戦術性が求められ、駆け引きが勝負の鍵になります。
セーリングスピリッツ級	国体新艇種として2000年に日本で開発された全長4.3mのハイ・パフォーマンスな2人乗りディンギー型ヨットです。ワン・デザインクラスで3枚のセールを装備し、艀装(ぎそう・種々の装備を施すこと)もシンプルのためセーリング技術のみで競い合うことができるディンギーです。特に風下にセーリングするときは、ジェネカーと呼ばれる左右非対称型のスピネーカーセールを展開し、ハイ・スピードで疾走します。
国際420級 (少年男子・少年女子)	420級は、2人乗りのディンギーです。420(ヨンニーマル)という名称は、艇体の全長が4.2mであることに由来したものです。 420級は、ISAF認定されたインターナショナルクラスで世界的に普及しています。大きな浮力タンクがあり、沈状態でもボートは非常に安全で、世界中の43ヶ国でユース世代のトレーニングボートとして活用されています。全国レベルや国際レベルの大会でも採用されており、現在も年間約350隻のボートが作られています。
レーザー級 (成年男子)	レーザー級の1人乗り(シングルハンドヨット)は、安くて性能が良く、レースにもレクリエーションにも適した艇を作るというコンセプトのもと、『新しいレーシングディンギーとしても使える入門艇』として、全長4.23m、巾1.37mで2本つなぎマストを使用して誕生しました。誰もが艇の性能ではなく『腕前』とほんの少しの『幸運さ』を競うレースを楽しめることから、世界中で急速に発展し、世界各国・各地域の選手権レースをはじめ、世界選手権や大陸選手権が次々に開催され、オリンピックにも採用されています。
レーザーラジアル級 (成年女子・少年男子・少年女子)	レーザー級の艇体をそのまま使い、2本つなぎのマストの下部セクションを短くしてセール面積を約80%の5.7㎡と、レーザー級をひと回り小さくした競技ヨットです。女子やユースをターゲットに作られたクラスです。
国体ウインドサーフィン級 (成年男子・成年女子)	1994年の愛知県体から成年男女の種目として採用されたボードセーリングのクラス。単一のワンデザインクラスではなく、国体ウインドサーフィン級というレギュレーションに適合すれば、どこのメーカーのボードやリグを使用しても良いとされています。通常のヨットのクラスでは風域によっては禁止されているパンピング(セールを煽って加速させる行為)や、マークタッチも認められているなど、このクラス独自のルールで競技は行われます。